

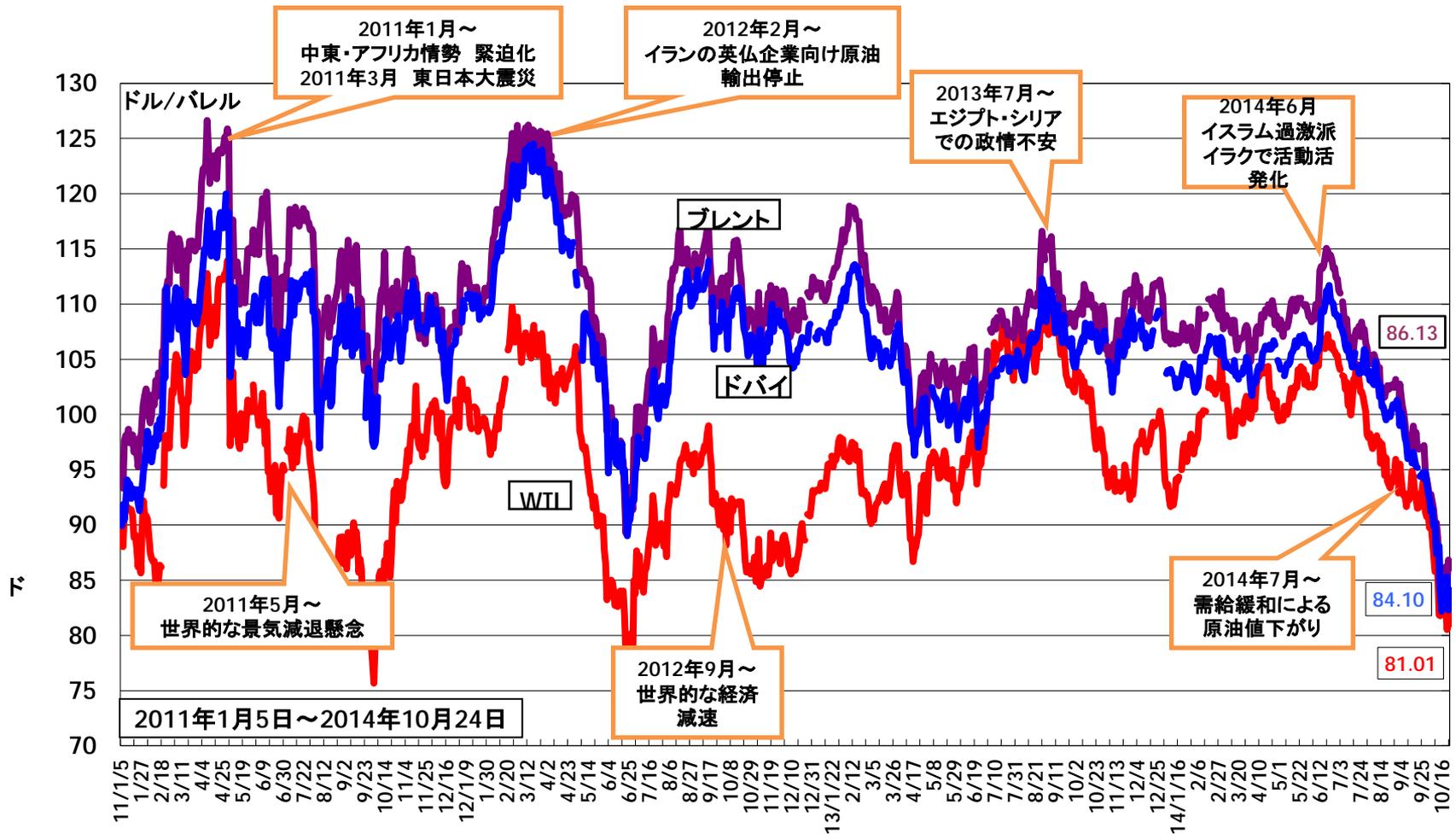
# 灯油意見交換会資料

～わが国の灯油価格について～

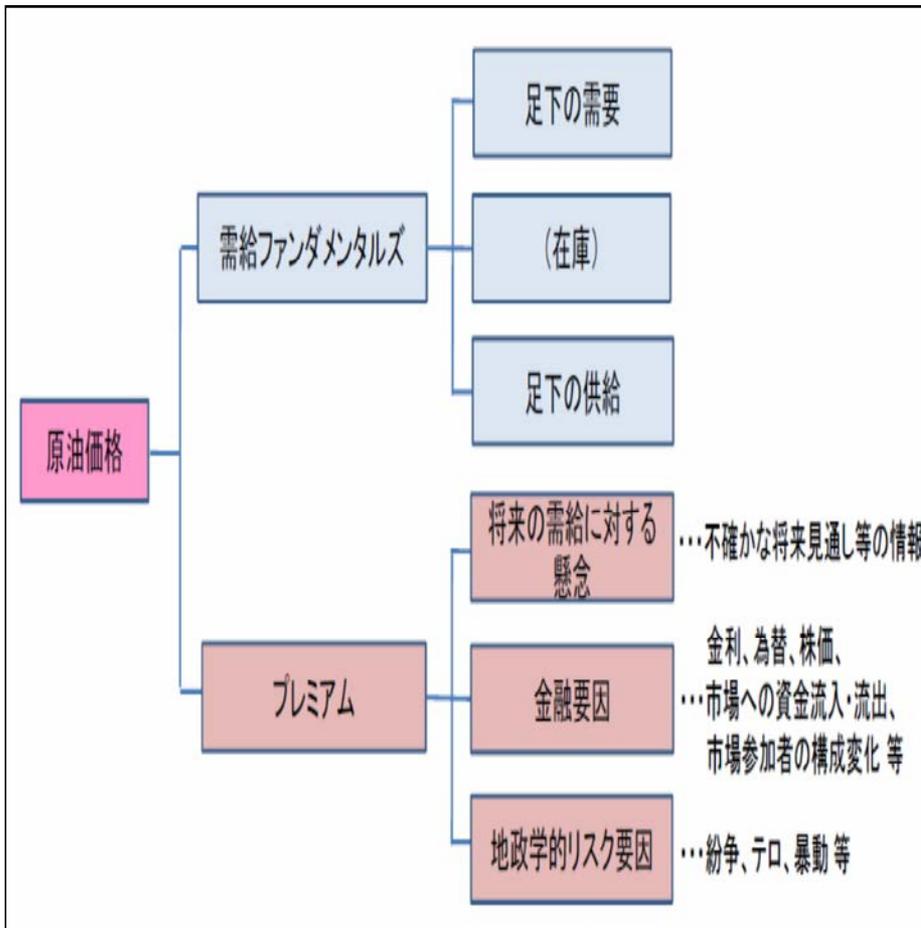
(一財)日本エネルギー経済研究所  
石油情報センター  
浜林 郁郎

# 1. 原油価格(米国(WTI)・中東(ドバイ))の推移

- 原油価格は、米国WTI、欧州ブレント、中東産ドバイが指標原油となり、相互に連動しながら日々変動する。
- 原油価格は、石油需給、経済情勢、中東情勢などに影響されるが、最近では約2年振りに値下がりしている。



## 2. 原油価格の変動要因



○原油価格は、足下の経済状況を反映した需給や在庫状況などを基礎とした「需給ファンダメンタルズ」に加え、将来の需給に対する懸念、地域紛争やテロなど地政学リスク要因、さらには株価やドル相場など金融要因といった「プレミアム」が影響。

○最近の変動要因

≪強気要因≫

- ①イラク、リビアでの政情不安
- ②イスラム国問題やテロへの不安
- ③ウクライナ問題を巡るロシアと米欧との対立
- ④パレスチナを巡る諸問題
- ⑤OPEC加盟国を含む産油国の増産余力

≪弱気要因≫

- ①世界経済の減速・国際通貨基金(IMF)の世界経済見通し
- ②欧州の経済問題
- ③中国の景気減速に伴う国内の石油製品需要の伸び悩み
- ④米国のシェール開発の動向

(出所)エネルギー白書

# 3. 2014~15年の石油需給と原油価格見通し

## 3-1 世界の石油需要見通し

(単位:百万b/d)

前年比伸率 14→15

	13CY	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14CY	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	15CY	14年	15年	増減
アメリカ大陸	24.08	23.87	23.65	24.34	24.44	24.07	23.95	23.88	24.26	24.45	24.14	100.0%	100.3%	+0.3%
欧州	13.65	13.02	13.41	13.83	13.55	13.46	13.07	13.44	13.75	13.37	13.41	98.6%	99.6%	+1.0%
アジア・オセアニア	8.33	8.85	7.65	7.73	8.38	8.15	8.63	7.51	7.78	8.27	8.05	97.8%	98.8%	+0.9%
(韓国)	2.32	2.36	2.32	2.33	2.42	2.36	2.41	2.26	2.33	2.41	2.36	101.7%	100.0%	▲1.7%
(日本)	4.53	5.02	3.87	3.92	4.45	4.31	4.73	3.77	3.94	4.34	4.19	95.1%	97.2%	+2.1%
OECD 計	46.06	45.73	44.71	45.90	46.36	45.68	45.65	44.83	45.79	46.09	45.59	99.2%	99.8%	+0.6%
アジア小計	21.95	22.30	22.44	22.21	22.88	22.46	22.93	23.07	22.84	23.53	23.10	102.3%	102.8%	+0.5%
(中国)	10.09	10.11	10.28	10.34	10.53	10.31	10.36	10.55	10.62	10.83	10.59	102.2%	102.7%	+0.5%
(インド)	3.77	3.93	3.93	3.63	3.91	3.85	4.03	4.06	3.78	4.00	3.97	102.1%	103.1%	+1.0%
FSU	4.73	4.59	4.78	4.96	4.87	4.80	4.61	4.79	5.03	4.96	4.85	101.5%	101.0%	▲0.4%
中東	7.90	7.79	8.21	8.49	7.87	8.09	7.92	8.35	8.79	8.17	8.31	102.4%	102.7%	+0.3%
アフリカ	3.84	3.93	3.97	3.85	4.00	3.94	4.08	4.11	4.04	4.19	4.11	102.6%	104.3%	+1.7%
中南米	6.62	6.58	6.75	6.89	6.84	6.77	6.70	6.88	7.01	7.00	6.90	102.3%	101.9%	▲0.3%
非OECD 計	45.69	45.84	46.80	47.07	47.14	46.72	46.91	47.88	48.39	48.55	47.94	102.3%	102.6%	+0.4%
需要 合計 a	91.75	91.57	91.52	92.98	93.51	92.40	92.56	92.71	94.18	94.64	93.53	100.7%	101.2%	+0.5%
OPEC(原油) ※1	30.46	29.99	30.07	30.45	30.45	30.24	30.45	30.45	30.45	30.45	30.45	99.3%	100.7%	+1.4%
(サウジアラビア)	9.40	9.46	9.50	9.62	9.62	9.55	9.62	9.62	9.62	9.62	9.62	101.6%	100.7%	▲0.9%
OPEC(NGL)	6.26	6.31	6.34	6.45	6.46	6.39	6.66	6.66	6.70	6.70	6.68	102.1%	104.5%	+2.5%
非OPEC	54.61	55.79	56.35	56.32	56.72	56.28	57.06	57.33	57.60	58.10	57.45	103.1%	102.1%	▲1.0%
供給 合計 ※2 b	91.33	92.09	92.76	93.22	93.63	92.91	94.17	94.44	94.75	95.25	94.58	101.7%	101.8%	+0.1%
需給ギャップ=OPEC 期待増産量 b-a	▲0.42	+0.52	+1.24	+0.24	+0.12	+0.51	+1.61	+1.73	+0.57	+0.61	+1.05			

※1 OPEC生産量(原油)については予測値がないため、2014年4Q以降は2014年3Q実績で仮置き

※2 世界供給合計は、OPEC原油(上記仮置き実績)+OPEC\_NGL(IEA予測)、非OPEC(IEA予測)の合計値

## 3-2 2014~15年原油価格見通し

(出所)IEA月次報告/10月版より作成

今後の原油価格の動向/EIA短期見通し(10月時点)

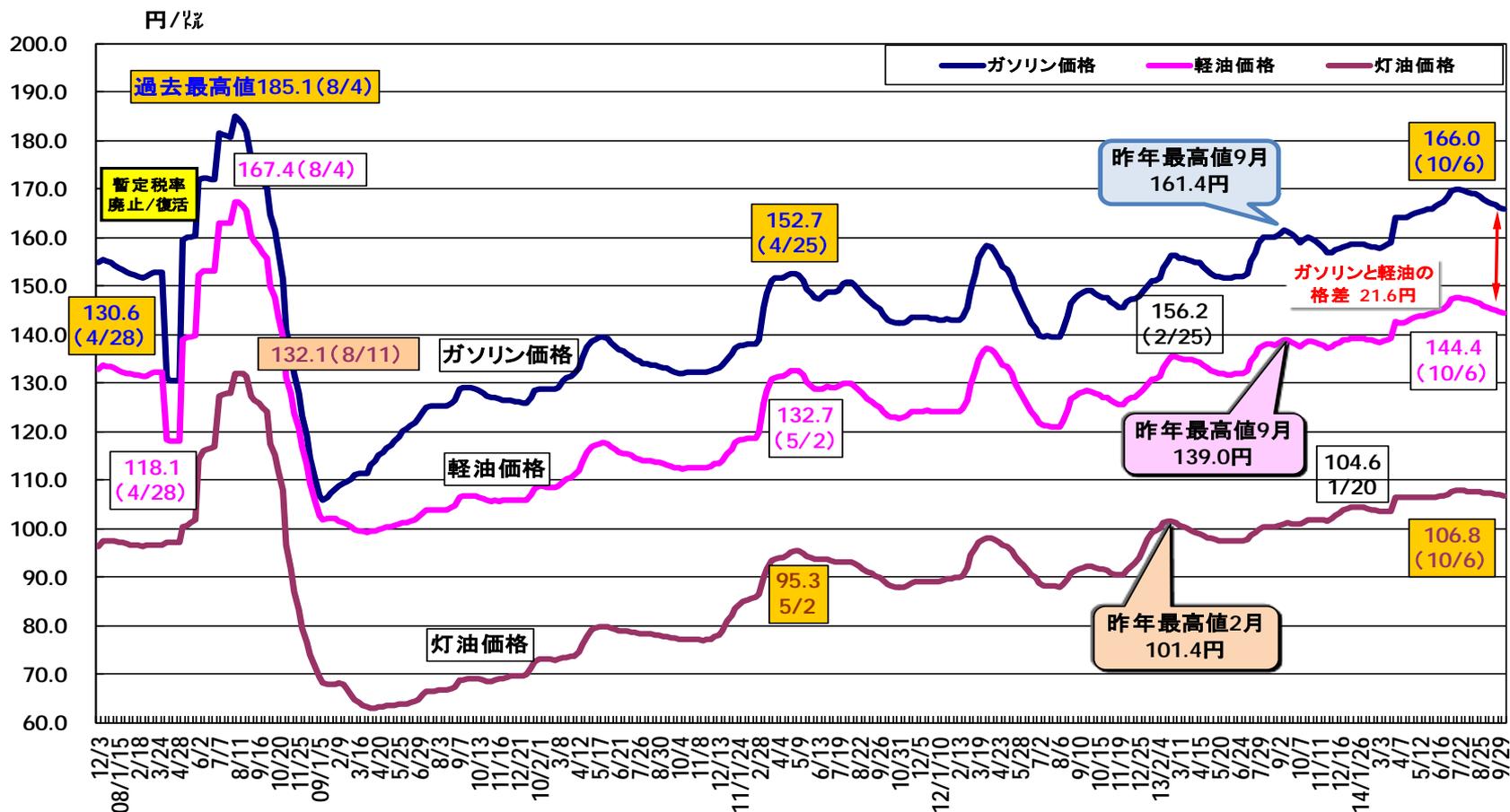
油種	2013CY	2014CY					2015CY
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	平均	
WTI	97.91	98.75	103.35	97.78	91.00	97.72	94.58
Brent	108.64	108.17	109.70	101.82	98.00	104.42	101.67
格差	▲10.73	▲9.42	▲6.35	▲4.04	▲7.00	▲6.70	▲7.09

①世界の石油需要は、中国、インド等の非OECD諸国が需要全体を牽引する。

②石油需給は、先進国の需要減、OPEC高水準生産、米国増産等で、安定的な需給緩和状態が続く。

## 4. 石油製品小売価格(SS店頭価格)の動向

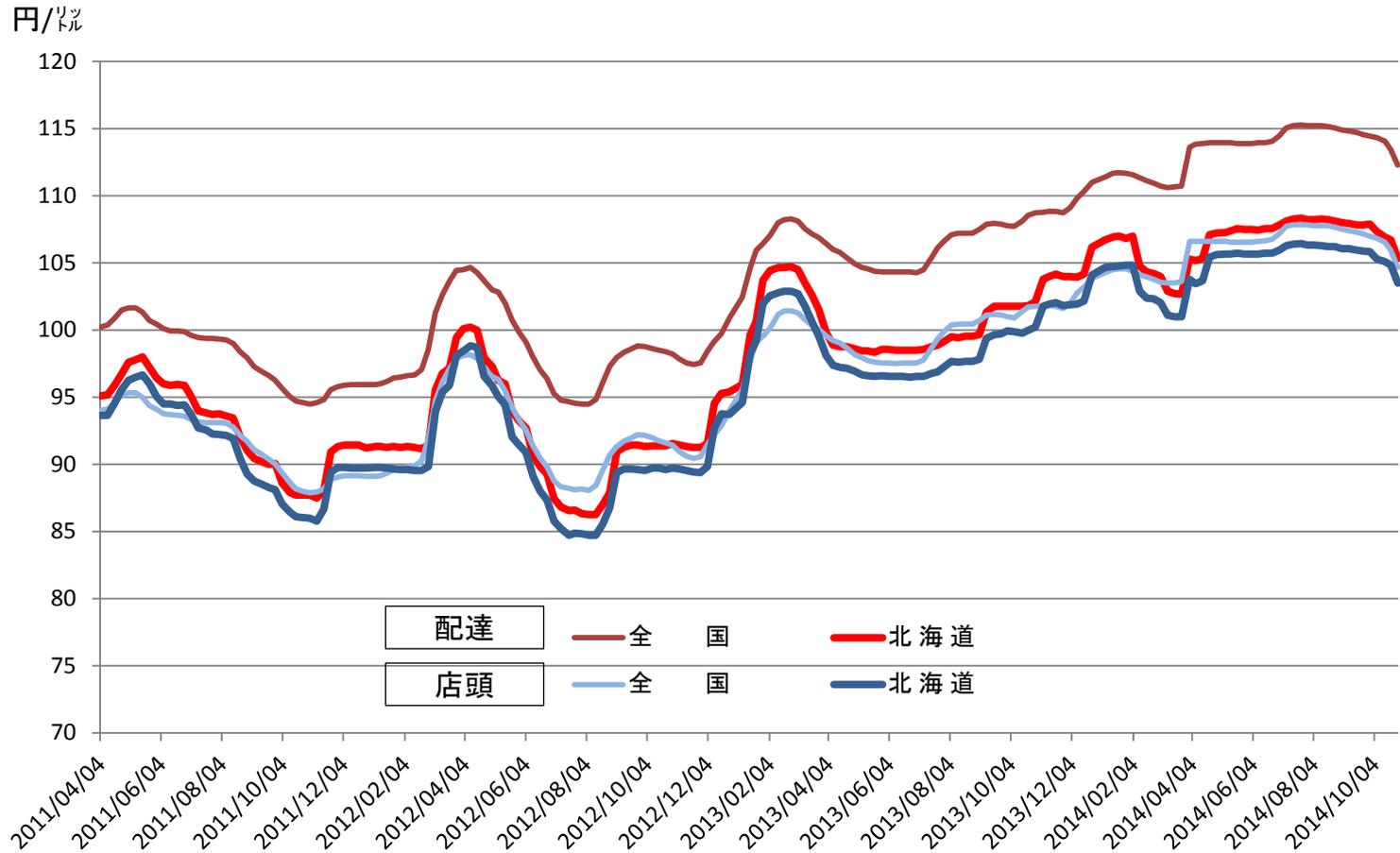
- 国内の石油製品価格は、原油コストを踏まえつつ、油種別の需給や競争環境等も反映した形で市場の中で形成されており、そのため、油種間には多少の価格差が生じることとなっている。
- 今年の灯油価格の最高値は7/14～8/18の107.8円、最低値は1/7の95.6円(北海道地域は最高値は7/22の106.4円、最低値は3/17、24の101.0円)。消費税が増税された4月以降、100円台で推移している。



(出所) 資源エネルギー庁公表「石油製品市況調査」

## 5. 北海道地域の灯油SS小売価格の推移

- 北海道の配達小売価格は全国平均を下回っており、直近では7円/㍓程度安い。
- 北海道の配達小売価格は107～108円/㍓台で推移してきたが、直近は値下がり傾向にある。



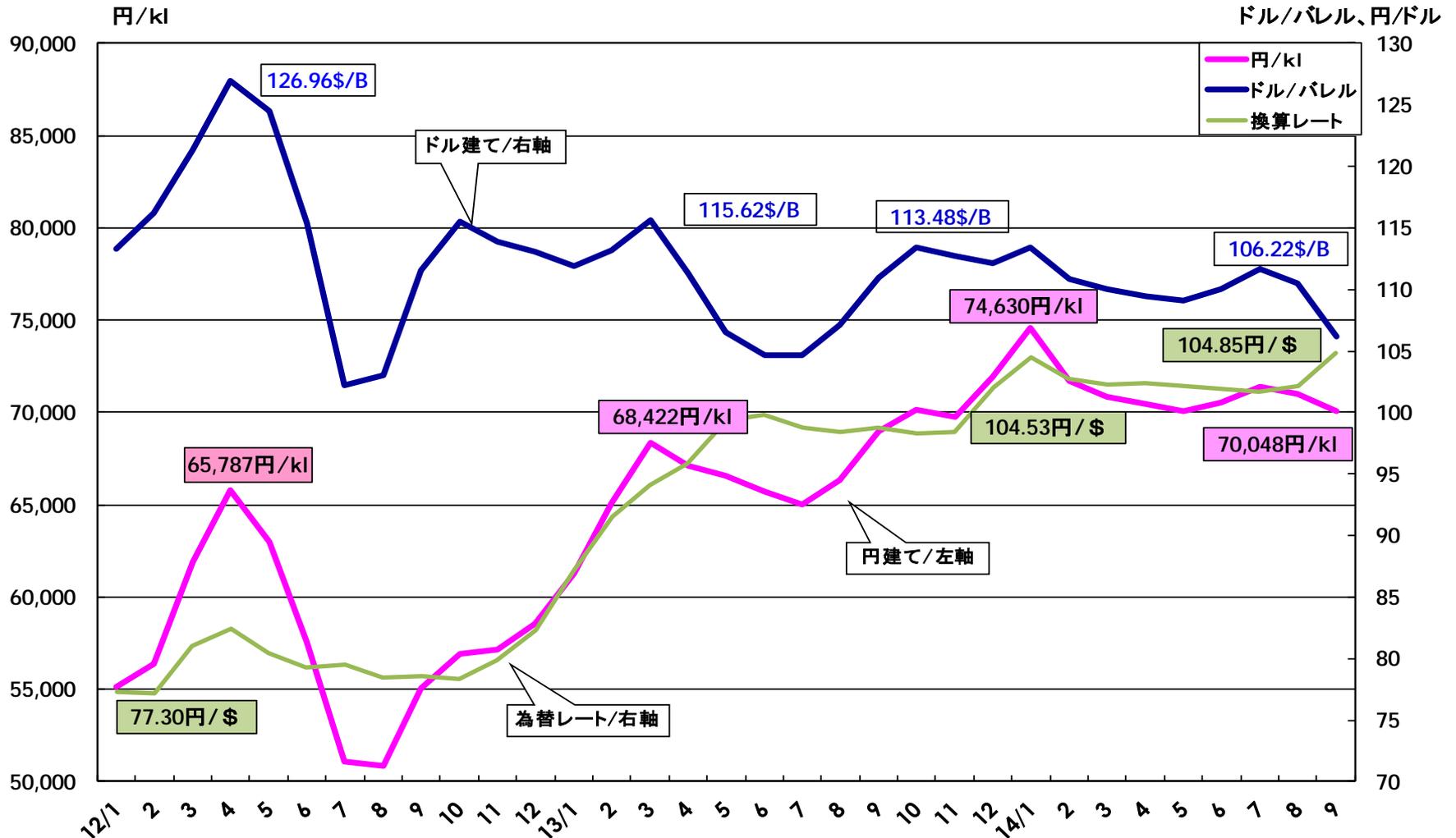
(出所) 灯油価格(店頭)は資源エネルギー庁公表の「石油製品市況調査」(週次調査)

# 參考資料

# 1. 最近の原油価格における為替(円安)の影響

○ 今年の原油CIF価格(日本到着価格)は円ベースでは1月が最高、ドル建てで113.51ドル/バレル、円建てで74,630円/kl、為替レートは104.53円/ドル。さらに直近の9月では106.22ドル、70,048円/kl、為替レートは104.85円/ドル。

○ 円安の進行により、ドルベースでは値下がりしたものの、円ベースでは2月以降横ばい状態が続いている。



## 2. ガソリン、灯油、軽油小売価格(2014年9月)の構造

- 各油種とも『原油CIF+石油諸税』の比率が高い(ガソリン83%、軽油78%、灯油75%)
- ガソリンの税抜き価格(98.4円)と灯油の税抜き価格(96.9円)は灯油のほうがやや低い。
- 『マージン』は精製マージンと流通マージンの合計、最近では低マージンが常態化。

ガソリン

167.1円/L

消費税		12.4円/L
石油・石炭税		2.54円/L
ガソリン税 53.8円/L	暫定上乘分	25.1円/L
	本則税率	28.7円/L
精製費、備蓄費、自家燃費、金利 輸送費、販売管理費 マージン等		28.4円/L
原油CIF		70.0円/L

軽油

145.3円/L

軽油引き取税 32.1円/L	暫定上乘分	17.1円/L
	本則税率	15.0円/L
+		
消費税		8.4円/L
石油・石炭税		2.54円/L
精製費、備蓄費、自家燃費、金利 輸送費、販売管理費 マージン等		32.3円/L
原油CIF		70.0円/L

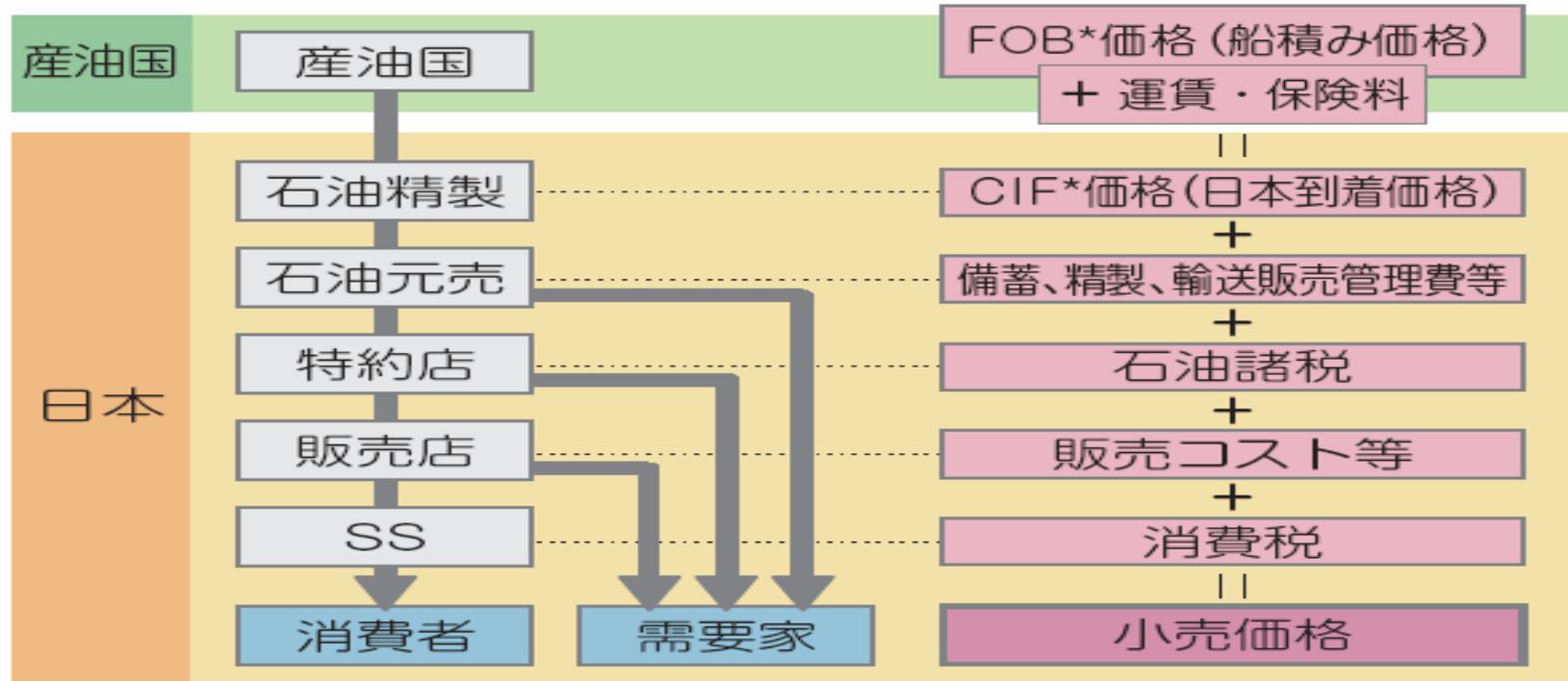
灯油

107.3円/L

消費税		7.9円/L
石油・石炭税		2.54円/L
精製費、備蓄費、自家燃費、金利 輸送費、販売管理費 マージン等		26.9円/L
原油CIF		70.0円/L

### 3. 灯油の価格メカニズム

○灯油価格は原油コストをベースに、運搬費、精製費、備蓄コスト等が加算されて形成される。  
 ○2008年以降、元売会社は需給動向を受けて変動する「スポット価格」や「先物価格」も加味して仕切り価格を決定している。



精製・元売には製販一体の会社もある。

\*FOB: Free On Boardの略で、本船積み渡しの意味。貨物が積地で本船舷側を通過した時点で、売主の責任は免除される。

\*CIF: Cost, Insurance and Freightの略で、FOB価格に、積地から揚地までの輸送運賃、航海中の貨物の保険料を加えたもの。

## 4. 灯油価格の比較(平成17年と平成26年)

○灯油価格とその要因を平成17年10月と平成26年10月で比較した。両者の価格差は36円/リットルである。  
 ○この間、原油価格が32.1円/リットル(55ドル/バレル)上昇し、この他に消費税増税分4.2円/リットル、石油石炭税(温暖化対策税の導入)分0.5円/リットルの計36.8円/リットルのコスト上昇となっている。

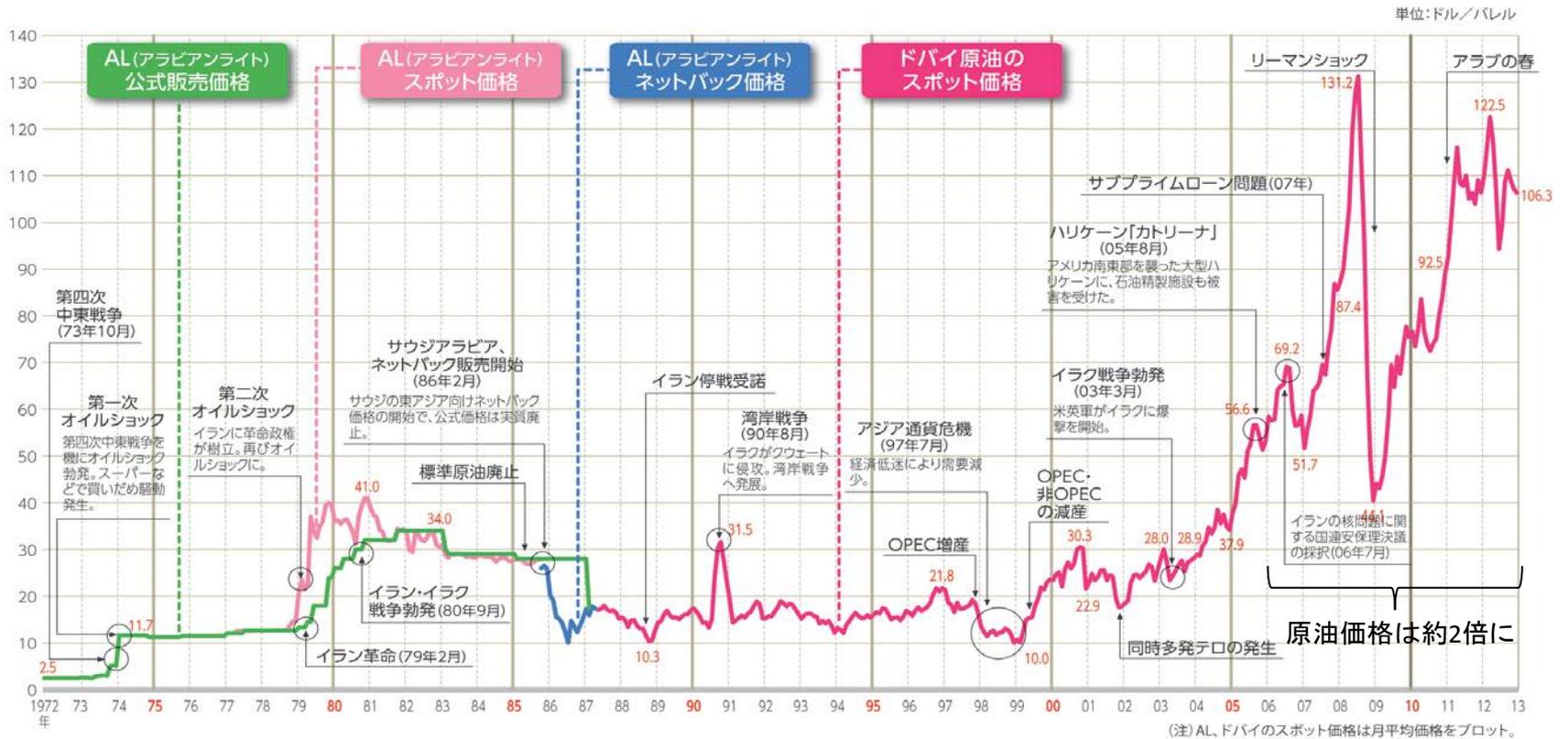
		灯油価格	消費税		石油石炭 税額 円/リットル	原油輸入価格		
		旭川 円/リットル	税率 %	税額 円/リットル		円ベース 円/リットル	ドルベース ドル/バレル	為替レート 円/ドル
						前々月(8月)の実績		
平成17年10月3日	a	69	5.0	3.3	2.04	38.9	55.5	111.5
平成26年10月6日	b	105	8.0	7.5	2.54	71.0	110.5	102.2
比較	(b-a)	36	3.0	4.2	0.5	32.1	55.0	-9.4


  
36.8円のコストアップ

(注)原油CIF価格(財務省資料)は、製品へのコスト転嫁を考え、2カ月前(8月の実績)を使用した。

# 5. 原油価格の推移

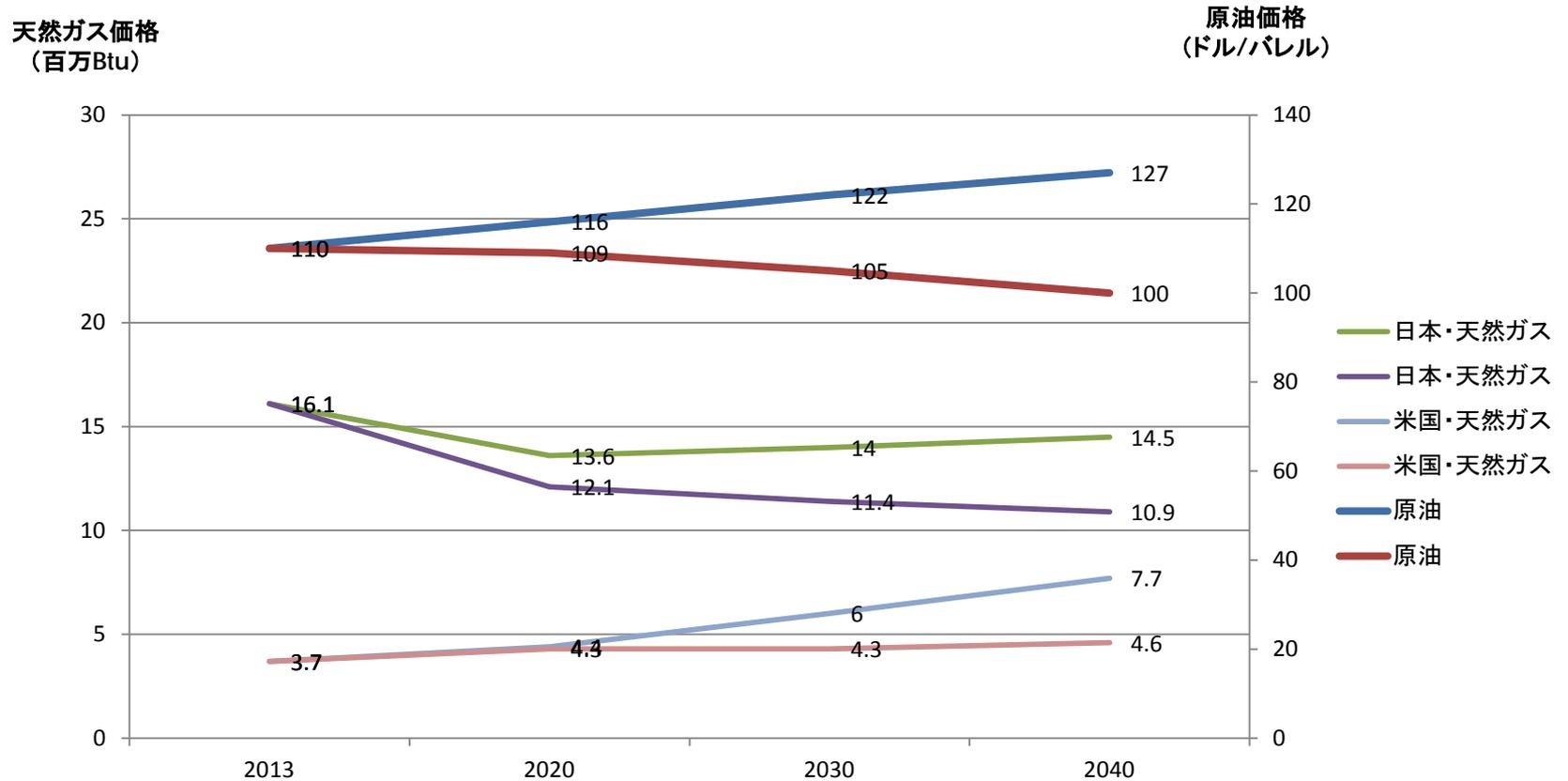
○1973年、1978年の第一次・第二次石油危機で値上がりした原油は、その後2005年頃までは20～40ドル前後で推移した。  
 ○その後、中国等後進国の需要増加や中東情勢、リーマンショック前のバブルなどから大幅に値上がりし、2008年には過去最高の150ドル近い水準となった。



出所:石油情報センター「OIL NOW2013」

## 6. 原油価格の見通し

○日本エネルギー経済研究所が、2014年10月に発表した2040年までの原油価格見通しでは、シェール資源等の開発により、石油・天然ガス価格の上昇は比較的穏やかとなる。  
 ○開発促進ケース(下段のグラフ)では、2040年の実質原油価格(2012年をベース)は100ドルへ値下がりすることも考えられる。



出所: 日本エネルギー経済研究所「アジア・世界エネルギーアウトルック2014」